

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/05/03

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.46	0.18
JPY/THB	0.2648	0.0006
USD/JPY	130.16	0.46
EUR/THB	36.19	0.09
EUR/USD	1.0507	-0.0038
USD/CNH	6.674	0.034
SGD/THB	24.86	0.10
AUD/THB	24.30	0.09
USD/INR	76.52	0.08
USD Index	103.74	0.78

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.288	0.000
10Y (THB)	2.846	0.000
5Y (USD)	3.005	0.050
10Y (USD)	2.981	0.047

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,863.6	-48.1
WTI (Oil)	105.17	0.48
Copper	9,769.5	0.0

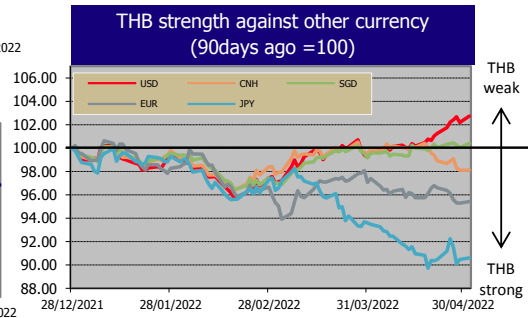
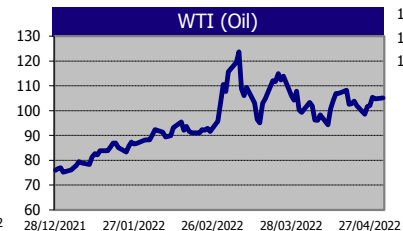
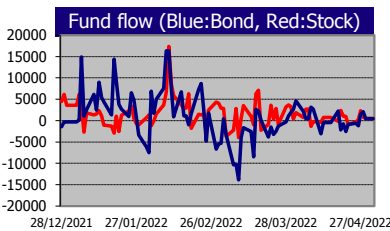
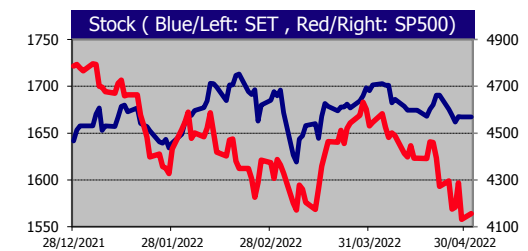
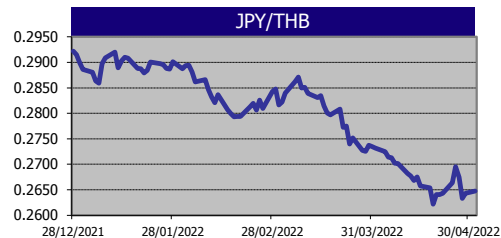
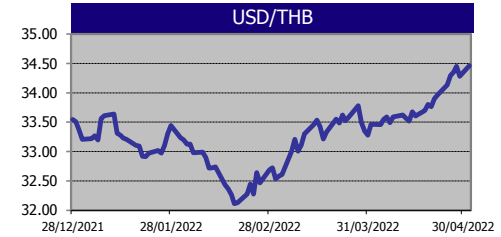
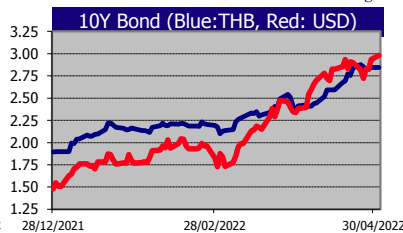
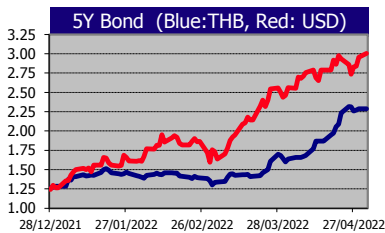
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,667.44	0.00
NIKKEI (JP)	26,818.53	-29.37
DOW (US)	33,061.50	84.29
S&P500 (US)	4,155.38	23.45
SHCOMP (CN)	3,047.06	0.00
DAX(GER)	13,939.07	-158.81

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	487	0.0
Bond net flow	415	0.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドル相場

・ドル相場は年初来高値圏で推移。先週末29日のドル相場は34.40近辺でオープン。月末のアジア市場はドル売りが優勢となり、日中のドル相場は終始売りが優勢となり、一時34.15近辺まで下落。またこの日はタイ中銀の月次経済報告が発表され、タイ景気は鈍化したとの認識が示された。3月の輸出は好調を示したものの、民間消費、設備投資、生産活動のいずれもが鈍化した。週明け2日はタイが祝日で休場となる中、オフショア市場では34.30近辺でオープン。月末の下げを取り戻すかのようにじり高推移が続き、結局引けにかけては34.45近辺まで値を戻し、年初来高値水準でクローズした。

●ドル円その他

・ドル円は高値圏で推移。昨日のドル円は130.75円近辺でオープン。日本がGW入りする中、月末はドル売りが優勢となったことでドル円も下落基調で推移。NY時間に発表された米第1Q・GDPはマイナス結果を示したものの、EU圏ではドイツの4月CPIが予想を上ぶれる等、インフレ懸念は落ち着かず、米金利も前日より大きく上昇。ドル円は米金利の上昇にも関わらず、上昇は限定的で結局129.85円近辺で越えた。週明け2日のドル円は130.00近辺でアジア時間オープン。日本はGW入りしている企業もあり、経常取引が限定的となる中、FOMCを控えて様子見姿勢が強まる展開。日中レンジは85銭程度と値幅は相応に出たものの、方向感はず、結局130.15円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

日本では今週はGW週に入り、休暇中の企業も多いと思いますが、タイにおいても2日と4日は祝日となるため、日本との連休過ぎで市場は様子見ムードとなっております。今週は最大の注目イベントといえるFOMCを迎え、タイ時間では5月5日のAM11:00に結果発表される予定です。マーケットでは50bpの利上げを織り込み、6月以降も連続利上げを実施し、5月から12月末の期間で10回相当の利上げを実施することが予想されています。加えて今回の会合では最大の注目点であるQTの決定が予想されており、QT実施に伴いFRBの保有する米国債の需給悪化の見込まれることから、FOMC会合後には米長期金利に上昇圧力がかかることも予想されます。ドル円は足元で130円台に到達し、20年ぶりの高値水準に位置している一方、ドル相場は足元で34.50近辺で推移しており、水準感という面では2017年ぶりの高値圏に位置しています。タイでは2017-2018年は景気的好調期であった一方、現在はコロナ不況の経済鈍化を引きずっていることから、米国がインフレ高進に絶え、力強い経済回復を維持した際には、ドル高・高バートン安基調のトレンド展開が続くことも意識され、中国のロックダウン次第では更に拍車がかかる可能性もあります。現在、米国では中間選挙を前に急速にインフレの押さえ込みを進めようとしていますが、金融政策変更から実態経済への反映にはタイムラグが発生するため、目先数ヶ月については、相場も不安定な状態となりそうです。インフレの大波が世界を襲う中、為替も大きく振れていますが、トレンド展開は大きな値幅を伴うことも考えられ、現在は規律あるヘッジオペレーションが求められる状況といえそうです。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.